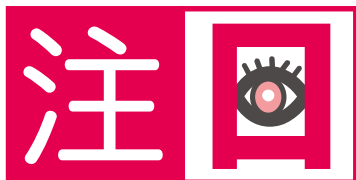


あなたに



新しい地域おこし協力隊を紹介します



さくら さくのすけ
佐倉 咲之介 さん (22歳)

9月1日に、札幌市出身の佐倉咲之介さんが地域おこし協力隊員として着任しました。佐倉さんは森林組合で活動しています。

厚岸で活動しようと思ったきっかけは？

牡蠣がとても好きで、数年に1回、牡蠣まつりに訪れていて、自然豊かで魅力ある町だなと感じていました。

また、偶然、妻が厚岸町出身であったことや、子どもを自然あふれるまちで育てていきたい思いもある中で、協力隊員の募集があったため応募しました。

どのような活動を展開していきたいですか？

これから研修などを受け経験を積み、木を切っていくなど、まずは林業の現場を学んでいきたいです。

また、森の近くに海がある町は、ありそうで無いなと思います。厚岸町は市街地から離れると車通りも少なく、静かで心地良い場所だと実感しています。そのような厚岸町の魅力を他の地域の人へ発信し、色んな世代の人に興味を持ってもらい、『厚岸町に住んでみたい』と感じてもらえたらと思っています。

厚岸のヒト・モノ・コトを
広報担当が紹介します



あっけしまちなかさんぽ

～コスモス畑をさんぽ編～



コスモス畑。
奥にはヒマワリ
も咲いていて、
見ごたえがありました。

花卉の形が桜に似ていることから、『秋桜』との和名がある、秋の代表花の一つです。



みなさんは、秋といえば何を思い浮かべますか？読書、紅葉、サンマなど、いろいろと浮かぶかと思いますが、私は『コスモス』が浮かびます。

厚岸町片無去にあるNPO法人のんき村。ここにコスモス畑があるのをご存じですか？施設の横に利用者が作ったコスモス畑が広がっていて、天気の良いければ青空にピンクの花びらが映え、遠くに雄阿寒岳と雌阿寒岳を望めるなど、きれいな景色を堪能できます。

私が訪れた日はあいにく曇り空でしたが、鮮やかなコスモスたちに、心が癒されました。このコスモスのシーズンが終わると花たちとはしばらくお別れかな…と、寂しい気持ちにも。

また、喫茶店もあり、ゆったりとコーヒーを飲みながらコスモスを鑑賞できたり、暑い日にはアイスクリームやパフェを楽しむことができます。家族そろってのお出かけにもぴったりです。

街中からは遠いため、散歩というよりドライブになってしまっていますが、たまには街中を離れ、緑豊かな厚岸を楽しんでみてはいかがでしょうか？

(今月号のさんぽ担当／濱)